

質問回答書

2020年8月27日

「全世界 2020 年度案件別外部事後評価:パッケージ III-3 (一般競走入札(総合評価落札方式))」
(公示日:2020年8月12日/調達管理番号:20a00172)に関する質問回答は、以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P20 第3章技術提案書作成要領 「2. 業務実施の方法等」 (1) 課題に関する現状認識 5 頁以下 (2) 業務実施の基本方針 5 頁以下	QCBS 方式の技術提案書では、「基本方針」と「業務実施の方法」で 20 頁以下とすると通常されていますが、総合落札方式では、左記の(1)(2)を合わせて 10 頁が目安となっています。多少の増減は認められるとのことですが、それでも少ないと考えます。特に本件は 4 案件が対象となりますので、それなりに頁数が必要とか思います。したがって、目安となる頁数の上限を増やしていただけないでしょうか。	頁数は目安ですので、多少の超過は問題ありません。
2	P22. 第3章技術提案書作成要領 2. 技術提案書作成に係る要件・留意事項 (6) 配布資料/閲覧資料等	業績評価に基づく予算編成能力向上支援プロジェクト・フェーズ 1・2 に関する資料ですが、フェーズ 2 の詳細計画策定調査の公示資料には、「フェーズ 1 の終了時評価報告書案」が参考資料として閲覧できたようです。JICA 図書館や Web サイトではまだ公開されていないようですが、この資料を配布資料に含めていただけないでしょうか。	現時点においてもフェーズ 1 の終了時評価報告書は公開されておりませんので、配布資料に含めることはできません。現在公開されている、フェーズ 2 完了報告書、フェーズ 1 中間レビュー報告書等を参考に願います。

通番号	当該頁項目	質問	回答
3	P28 第 4 章 経費積算にかかる留意事項 2. 入札金額内訳(1)費用構成	現地踏査の予定のインドネシア案件では、パイロットサイトでの調査に際し、州をまたいだ移動が予想されます。この場合、現地の PCR 検査証明書の発行手数料等が発生する可能性があります。当該経費は「II. 直接経費」のうち(2)現地関連費②一般業務費(現地支出分)で対応可能という理解で問題ないでしょうか。	PCR 検査に伴う必要経費については、現時点では見積には含めず、必要が生じた際に別途打合簿を交わし契約に含めることとします。
4	16 頁「(3)ローカルリソースの活用」	インドネシア、エチオピアの各国対象 2 案件で現地調査補助員を備上する場合、両国の各案件で 1 名を配置するという理解でよろしいでしょうか？	配置人数について特に定めはありません。
5	28 頁「3. 定額で計上する経費」	<p>①「旅費(航空賃)」に関しては、インドネシアにおける本邦コンサルタントの日当・宿泊が含まれているという認識でよろしいでしょうか？</p> <p>②「車両借上費」「現地国内航空賃」について、インドネシアの案件では本邦コンサルタントおよび現地調査補助員が含まれていると思いますが、エチオピア案件の現地調査補助員が利用する車両費および国内航空賃も含まれているという認識でよろしいでしょうか？</p> <p>③なお、8 頁「(3)価格評価の方法」の説明によれば、価格点は予定価格の 80%がもっとも高い得点になるとしています。当該定額部分(約</p>	<p>① 旅費(航空賃)には日当・宿泊は含みません。別添様式 1-2 の入札金額内訳書に記載のとおり、日当・宿泊は現地関連費/旅費(日当・宿泊)に計上願います。</p> <p>② ご理解のとおりです。</p> <p>③ ご理解の通りです。</p>

通番号	当該頁項目	質問	回答
		<p>1,000 万円)の固定費を契約金額に含めるとなると、例えば、全体額を 3,000 万円とした場合、残りの 2,000 万円(人件費とその他経費)で調整しなければならず、割合でいうと 7 割にすることで 80%(総額 2,400 万円)に到達させることができます。このような理解でよろしいでしょうか？</p>	

以上